

- (1) SCC 発生に及ぼす環境条件の影響—NaCl+X 溶液中の SCC (中間発表) — (日本冶金 遅沢)  
 (2) 沸騰 20%NaCl 水溶液による SCC 試験結果 (日本ステンレス 小林)  
 (3) 304 ステンレス鋼の SCC 形態変化および粒界割れ機構について (東北大 高橋)

4. その他  
 (1) 来年度から新しく委員 (とくに大学の方) を補充したい旨部会長から報告があつた。  
 (2) 今後の進め方について検討した。  
 今回は 8 月 20 日の予定。

## 「鉄と鋼」特集号原稿募集のお知らせ

### テーマ：特殊精錬法

原稿締切 昭和 52 年 2 月 24 日 (木)

鋼材の品質に対する要求が高まるにつれて、これに応えるように色々な特殊精錬法が開発され改良されてまいりました。そうしたすばらしい技術の進歩の後をトレースし、総括するとともに明日の進歩の手がかりを得るために、特集号を編集することになりました。

つきましては、下記の内容に関する論文あるいは技術報告を多数ご投稿下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 内 容 1. 真空脱ガス法 2. 取鍋精錬法 3. AOD法 4. 取鍋合金添加法  
 5. 真空溶解法 6. エレクトロスラグ溶解法 7. その他の特殊溶解法  
 2. 原稿締切日 昭和 52 年 2 月 24 日 (木)  
 3. 原稿枚数 (論文) 本会所定の原稿用紙 (450 字詰) 図, 表, 写真を含め 50 枚以内 (刷り上り 10 頁以内)  
 (技術報告) 本会所定の原稿用紙図, 表, 写真を含め 35 枚以内 (刷り上り 7 頁以内)  
 4. 発行 鉄と鋼, 第 63 年第 13 号 (昭和 52 年 11 月号)  
 5. 原稿送付先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階  
 日本鉄鋼協会編集課 (電 03-279-6021)

(投稿に当つては、原稿表紙に“特殊精錬法特集号”と朱書き下さるようお願いいたします)

### 第 3 回溶接技術基礎講座案内

主催：溶接学会，後援：溶接協会，協賛：鉄鋼協会ほか  
 日 時 昭和 51 年 10 月 7 日 (木)，8 日 (金)，9 日 (土)  
 会 場 大東京ビル (大信) 会議室  
 (東京都港区東新橋 2-6-10) Tel. 431-4599

#### プログラム

〔10月7日〕

9:00~ 溶接部の強度 新日鉄 鈴木 春義  
 13:00~ 溶接設計 本四連絡橋公団 田島 二郎  
 14:40~ 溶接機器 東芝 竹中 一博

〔10月8日〕

9:00~ 溶接冶金 東工大 田村 博  
 13:00~ 溶接法と溶接材料 神鋼 叶野 元己  
 14:40~ 溶接施工法 三菱重工 尾上 久浩

〔10月9日〕

9:00~ 溶接施工管理 三菱重工 尾上 久浩  
 13:00~ 溶接部の試験と検査 阪大 仙田 富男

テキスト 本学会テキスト，鋼構造溶接施工管理教本  
 受講料 会員 28,000 円 非会員 30,000 円  
 (協賛学協会の会員は会員料金とします)

申 込 定員 100 名で締切ますので、所定の申込用紙  
 に受講料を添えてご送付下さい。

振込銀行 東海銀行秋葉原支店 口座番号 666-808-850  
 問い合わせ先 101 東京都千代田区神田佐久間町 1-11  
 (社) 溶接学会事務局教育出版係 Tel. 03-253-0488

### 金属材料技術研究所創立 20 周年記念研究講演会

日 時 昭和 51 年 10 月 21 日 (木) 10:00~17:00

会 場 金属材料技術研究所大会議室  
 東京都目黒区中目黒 2-3-12

[東横線中目黒駅下車，徒歩約 10 分，  
 東京共済病院隣] Tel. 03-719-2271

#### プログラム

10:00~10:10 あいさつ 所長 荒木 透

10:10~12:10

1. 金属と水素 非鉄金属材料部 佐々木靖男  
 2. 鋼の強度と環境 鉄鋼材料部 金尾 正雄  
 3. 金属間化合物超電導材料  
 電気磁気材料部 井上 廉

13:00~14:20

4. 原子力関連材料 科学研究所 伊藤 伍郎  
 5. 材料強さデータシート  
 疲れ試験部 吉田 進

14:30~15:50

6. 新しい製鉄・製鋼法 工業化部 中川 龍一  
 7. 新しい非鉄製錬法 製錬部 亀谷 博

15:50~17:00

8. 金属粉末製造法と焼結加工法  
 金属加工部 武田 徹  
 9. アーク溶接における制御技術  
 溶接部 岡田 明

聴講料 無料(当日御来場の方に概要集を差し上げます)